

2012年
9月18日
NO 2号

全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国OB会
発行人 川端 実
編集人 中村靖治

JR総連OB連絡会・第9回定期総会開催

JR総連OB会連絡会・第9回定期総会が9月14日・15日の両日で開催され、役員、代議員、傍聴者からなる60名の構成で進められました。JR貨物労組OB会から7名が参加しました。大熊会長からは「福島原発事故により、被災者の方が帰るところ



がない現実、脱原発の道しかないことを示している。」「地域における高齢・退職者連合への加入を通して活動していく必要がある。」「たしろの2期目の保障はOB会の取り組み次第である。徹底的に頑張ろうではないか」などのあいさつがありました。質疑では15名の代議員からの発言がありました。貨物労組からは兼子、佐藤、後藤代議員の3名が

・JR貨物は断続的に赤字を繰り返し、縮小均衡を進めている。雇用と生活を守るため、OB会としても貨物改革のたたかいを後押し、この苦境を理解して欲しい。

・反弹圧のたたかいを若い者に「先達の声」で伝えたい。浦和事件の上告棄却は悔しい。

・貨物労組は平成採がほとんどで、OB会は親



の心境。青年部との交流で悩みを聞く

・大震災では物心共々の支援をいただいた。ありがとう

などの力強い発言をしました。夜は遅くまで交流、総会では活発な議論があり、活気あふれる総会でした。

